

問題作成方針に関する検討の方向性

【地理総合、歴史総合、公共】

○ 『地理総合、歴史総合、公共』では、地理歴史科、公民科の必履修科目（学科等を問わず全ての生徒が卒業までに履修する科目）である3科目に対応した三つを出題範囲として出題する（受験者は、そのうち二つを選択解答する。）。

○ 新学習指導要領に示されている、それぞれの科目で育成することとされている資質・能力を一層重視したものとなるよう検討する。

【地理（地理総合、地理探究）】

○ 『地理総合、地理探究』では、必履修科目である「地理総合」と、その履修後に学習する選択科目である「地理探究」を総合した範囲から出題する。

○ 新学習指導要領に示されている「地理総合」及び「地理探究」で育成することとされている資質・能力を一層重視したものとなるよう検討する。

[令和7年度試験の問題作成の方向性、試作問題等 | 大学入試センター \(dnc.ac.jp\)](https://dnc.ac.jp) (2022.11.9、大学入試センター)

【問題作成方針のポイント】

- ・ 令和7年度の問題作成方針では、地理に関わる事象を多面的・多角的に考察、「構想する」過程も重視されることが加えられた。
- ・ 地理的な見方・考え方を働かせて、地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、「概念などを活用して」多面的・多角的に考察することが加えられた。

問題作成方針

【令和7年度】

『地理総合、地理探究』、『地理総合／歴史総合／公共』の「地理総合」部分

○ 地理に関わる事象を多面的・多角的に考察、**構想する**過程を重視する。

地理的な見方・考え方を働かせて、地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、**概念などを活用して**多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて**構想したりする力を求める**。『地理総合、地理探究』では、「**地理総合**」で学習したことと、それを基に「**地理探究**」で学習したことを問う。

問題の作成に当たっては、地域を様々なスケールから捉える問題や、地理的な諸事象に対して知識を基に推論したり、資料を基に検証したりする問題、系統地理と地誌の両分野を関連付けた問題などを含めて検討する。

参考【令和6年度】【地理】

地理に関わる事象を多面的・多角的に考察する過程を重視する。地理的な見方や考え方を働かせて、地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、地理的な諸課題の解決に向けて**構想したりする力を求める**。

問題の作成に当たっては、思考の過程に重きを置きながら、地域を様々なスケールから捉える問題や、地理的な諸事象に対して知識を基に推論したり、資料を基に検証したりする問題、系統地理と地誌の両分野を関連付けた問題などを含めて検討する。